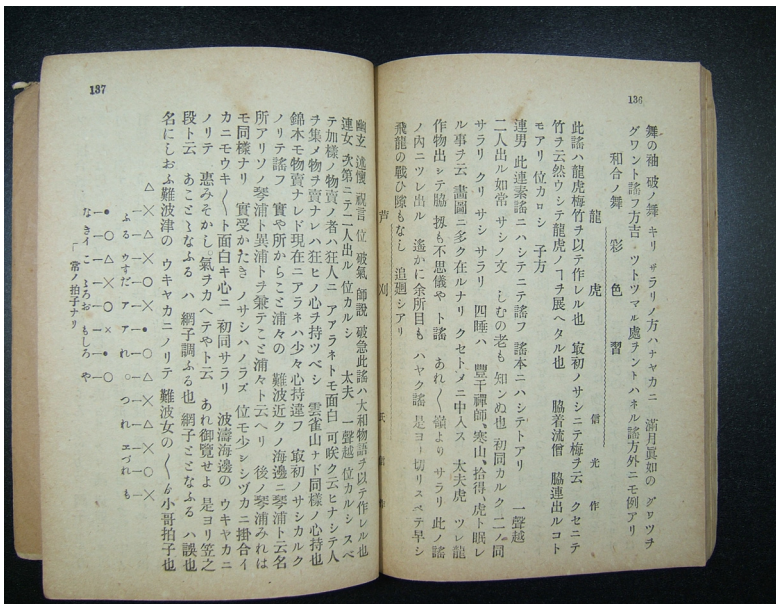


大喜多信秀 『謡曲秘伝書』

著者は、京観世岩井派に属する歌い手であり、京観世の謡い方を伝えると考えられる伝書。約二百曲の謡各所について、技術的な要点を記す。同じく常磐会刊行の観世流謡本と対応すると考えられる。大正三年初版、大正九年再版。高砂初めに「拍子ニ拘泥セズ」、西行桜に「ノリ過レバトントコ拍子ニナリテ悪シ」と書かれる等、興味深い指示に満ちている。写真下の左頁は、芦刈。左端には、小唄拍子の当たりが部分的に示されている。



標題 内題…

標題紙…

奥附…

その他…謡曲秘伝書(表紙・背)

著者 奥附…大喜多信秀(増補訂正)

その他の場所…

出版 版次…第二版

出版地…大阪

出版社…常磐会

出版年…大正9(1920)

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…二二一頁

寸法…17×13(cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 初版は大正三(一九一四)年。